

# 免疫学分野

## 論文

### A 欧文

A-a

1. Sukhbaatar O, Kimura D, Miyakoda M, Nakamae S, Kimura K, Hara H, Yoshida H, Inoue S-I, Yui K: Activation and IL-10 production of specific CD4+ T cells are regulated by IL-27 during chronic infection with Plasmodium chabaudi. Parasitology International 74: 101994, 2020. doi: 10.1016/j.parint.2019.01.003. (IF: .2.230)
2. Yui K, Inoue S-I: Host-pathogen interaction in the tissue environment during Plasmodium blood-stage infection. Parasite Immunology 43(2): e12763, 2020. doi: 10.1111/pim.12763. (IF: 2.280)
3. Niikura M, Fukutomi T, Fukui K, Inoue S-I, Asahi H, Kobayashi F: G-strand binding protein 2 is involved in asexual and sexual development of Plasmodium berghei. Parasitology International 76: 102059, 2020. doi: 10.1016/j.parint.2020.102059. (IF: 2.230)

## 学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	0	0	2

## 社会活動

氏名・職	委員会等名	関係機関名
由井克之・教授	理事	日本寄生虫学会
由井克之・教授	評議員	日本免疫学会
由井克之・教授	特別研究員等審査会専門委員、卓越研究員選考委員会書面審査委員及び国際事業委員会書面審査員・書面評価員	日本学術振興会
由井克之・教授	熱帯医学研究拠点 運営委員会委員	熱帯医学研究所
由井克之・教授	研究費申請書書面審査委員	Agence Nationale de Recherche, France
井上信一・准教授	評議員	日本寄生虫学会

## 競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究題目
由井克之・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(B)「マラリア原虫特異的Tr27細胞の感染制御における役割と抗原認識に関する研究」
由井克之・教授	日本学術振興会	代表	国際共同研究強化(B)「感染対策の進むフィリピンにおけるマラリア免疫応答の記憶維持に関する国際共同研究」
由井克之・教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C)「マラリアにおける免疫記憶抑制—IL-27依存的細胞死のメカニズム解明—」
由井克之・教授	日本学術振興会	代表	挑戦的研究(萌芽)「二種類の慢性感染症モデルを用いたT細胞疲弊の多様性と可逆性の分子機構に関する研究」
井上信一・准教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C)「マラリア免疫における $\gamma\delta$ T細胞疲弊の意義とその分子基盤の解明」
井上信一・准教授	日本学術振興会	代表	二国間交流事業 共同研究「三日熱マラリアの重症化における自然免疫様細胞 $\gamma\delta$ T細胞の役割の解明」
井上信一・准教授	日本学術振興会	分担	基盤研究(C)「脂肪組織を基軸とした新たな妊娠マラリア病態発症機構の解明」

Bayarsaikhan Ganchimeg・助教	日本学術振興会	代表	若手研究「Distinct roles of IL-27 produced by macrophages and dendritic cells in shaping the immune response against Plasmodium parasites」
------------------------------	---------	----	---

## その他

### 非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
由井克之・教授	特別講師（医動物学）	信州大学医学部
由井克之・教授	非常勤講師（生体防御医学 寄生虫学）	岡山大学医学部